

I 推計値の概要

1 農業総産出額及び生産農業所得（全国推計）

(1) 平成25年の農業総産出額は8兆4,668億円で、前年に比べ0.7%減少した。

これは、野菜、果実及び畜産の各部門で産出額が増加したものの、米の産出額が減少したことによる。

主要部門別に構成割合をみると、畜産計は2兆7,092億円で農業総産出額の32.0%を占めており、次いで、野菜が2兆2,533億円で同26.6%、米が1兆7,807億円で同21.0%を占めている。

表1 農業総産出額（平成25年）

区 分	産 出 額		対 前 年 増 減 率
	実 額	構 成 比	
	億円	%	%
農業総産出額	84,668	100.0	△ 0.7
うち 耕 種 計	57,031	67.4	△ 3.0
うち 米	17,807	21.0	△ 12.2
野 菜	22,533	26.6	2.9
果 実	7,588	9.0	1.6
畜 産 計	27,092	32.0	4.7
うち 肉用牛	5,189	6.1	3.1
乳用牛	7,780	9.2	0.4
豚	5,746	6.8	7.1
鶏	7,842	9.3	8.3

注：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵、ブロイラーを含む。

ア 耕種部門

耕種部門の産出額は5兆7,031億円（農業総産出額に占める構成比67.4%）で、前年に比べ3.0%減少した。

- (ア) 米の産出額は1兆7,807億円（同21.0%）で、前年に比べ12.2%減少した。
これは、価格が低下したことによる。
- (イ) 野菜の産出額は2兆2,533億円（同26.6%）で、前年に比べ2.9%増加した。
これは、夏以降に多くの野菜で価格が上昇したこと等による。
- (ウ) 果実の産出額は7,588億円（同9.0%）で、前年に比べ1.6%増加した。
これは、みかんの生産量が増加したことや、りんごの価格が上昇したこと等による。
- (エ) 花きの産出額は3,485億円（同4.1%）で、前年に比べ1.0%増加した。
これは、トルコギキョウの価格が上昇したこと等による。

イ 畜産部門

畜産部門の産出額は2兆7,092億円（農業総産出額に占める構成比32.0%）で、前年に比べ4.7%増加した。

- (ア) 肉用牛の産出額は5,189億円（同6.1%）で、前年に比べ3.1%増加した。
これは、価格が上昇したこと等による。
- (イ) 乳用牛の産出額は7,780億円（同9.2%）で、前年に比べ0.4%増加した。
これは、乳牛の価格が上昇したこと等による。
- (ウ) 豚の産出額は5,746億円（同6.8%）で、前年に比べ7.1%増加した。
これは、価格が上昇したこと等による。
- (エ) 鶏の産出額は7,842億円（同9.3%）で、前年に比べ8.3%増加した。
これは、鶏卵及びブロイラーの価格が上昇したことによる。

表2 農業総産出額

区 分	平成24年		25		対前年 増減率
	実 額	構成比	実 額	構成比	
	億円	%	億円	%	%
農業総産出額	85,251	100.0	84,668	100.0	△ 0.7
うち 耕 種 計	58,790	69.0	57,031	67.4	△ 3.0
うち 米	20,286	23.8	17,807	21.0	△ 12.2
麦 類	440	0.5	410	0.5	△ 6.8
豆 類	658	0.8	641	0.8	△ 2.6
い も 類	1,842	2.2	1,985	2.3	7.8
野 菜	21,896	25.7	22,533	26.6	2.9
果 実	7,471	8.8	7,588	9.0	1.6
花 き	3,451	4.0	3,485	4.1	1.0
工芸農作物	1,962	2.3	1,849	2.2	△ 5.8
畜 産 計	25,880	30.4	27,092	32.0	4.7
うち 肉 用 牛	5,033	5.9	5,189	6.1	3.1
乳 用 牛	7,746	9.1	7,780	9.2	0.4
豚	5,367	6.3	5,746	6.8	7.1
鶏	7,239	8.5	7,842	9.3	8.3

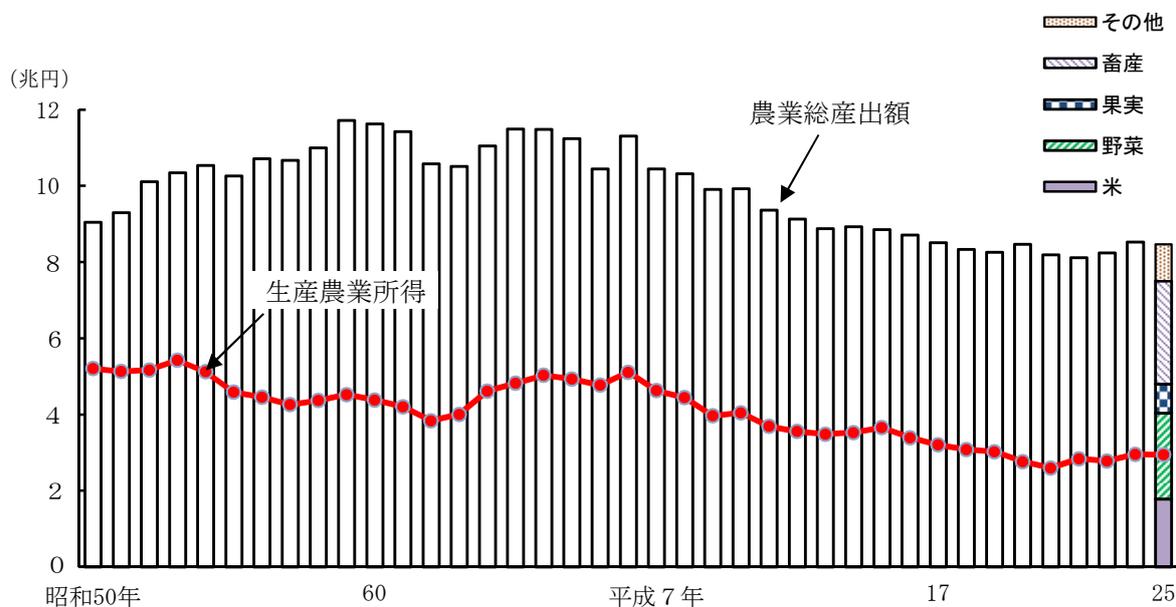
注：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵、ブロイラーを含む。

(2) 生産農業所得は2兆9,412億円で、前年に比べ0.4%減少した。

表3 生産農業所得（全国）

年次	生産農業所得	
	実額	対前年増減率
	億円	%
平成19年	30,207	△ 1.9
20	27,604	△ 8.6
21	25,946	△ 6.0
22	28,395	9.4
23	27,800	△ 2.1
24	29,541	6.3
25	29,412	△ 0.4

図1 農業総産出額及び生産農業所得の推移



【参 考】

労働農業所得の試算

1 試算の目的

自営農業労働から得られる所得をマクロベースでみるため、生産農業所得から雇用賃金相当額、支払利子・地代相当額、経常補助金等を控除した労働農業所得（家族）及び労働農業所得（家族）から経営主（法人経営の構成員等を含む。）以外の家族の賃金相当額を控除し、経営主に帰属する部分である労働農業所得（経営主）を試算した。

2 試算方法

$$(1) \text{ 労働農業所得（家族）} = \text{生産農業所得} - (\text{経常補助金等} + \text{雇用賃金相当額} + \text{支払利子・地代相当額})$$

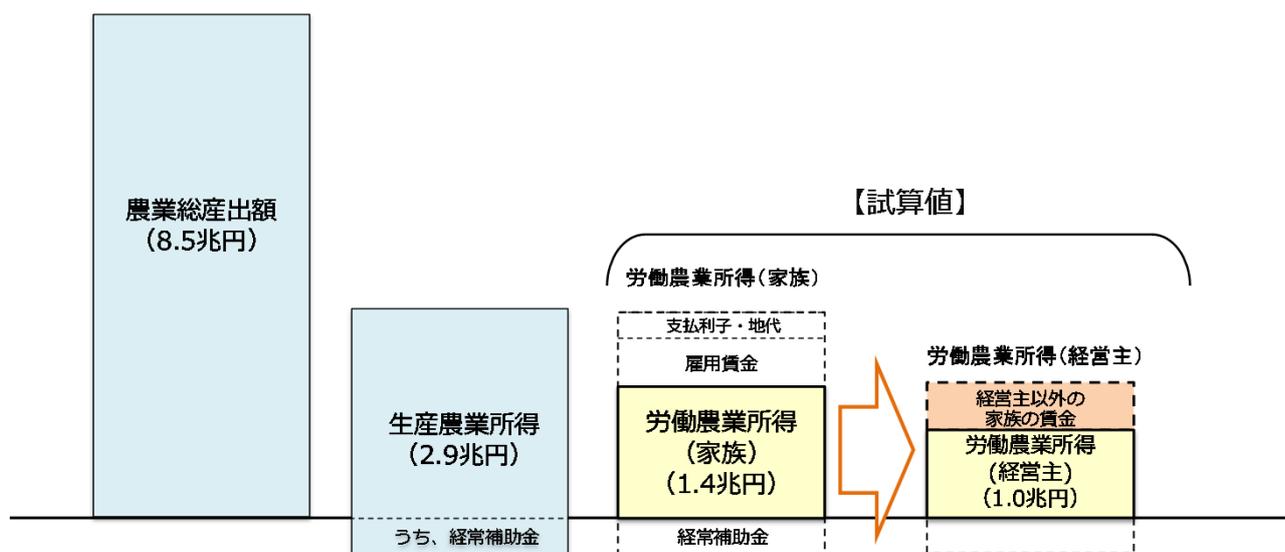
※ 雇用賃金相当額及び支払利子・支払地代相当額は、農業経営統計調査結果から得られた1経営体当たりの雇用賃金、支払利子・地代に経営体数を乗じて試算したものである。

$$(2) \text{ 労働農業所得（経営主）} = \text{労働農業所得（家族）} - \text{経営主以外の家族の賃金相当額}$$

※ 経営主以外の家族の賃金相当額は、労働農業所得（家族）から農業経営統計調査結果から試算した1経営体当たりの自己資本利子・自作地地代に経営体数を乗じた額を控除したうえで、経営主と経営主以外の家族の農業労働時間割合で^{あん}按分したものである。

3 試算結果

平成25年の労働農業所得（家族）は1.4兆円、労働農業所得（経営主）は1.0兆円となった。



2 農業産出額及び生産農業所得（都道府県別推計）

- (1) 都道府県別の農業産出額は、北海道が1兆705億円で最も多く、次いで茨城県が4,356億円、千葉県が4,141億円、鹿児島県が4,109億円、熊本県が3,250億円の順となっている。

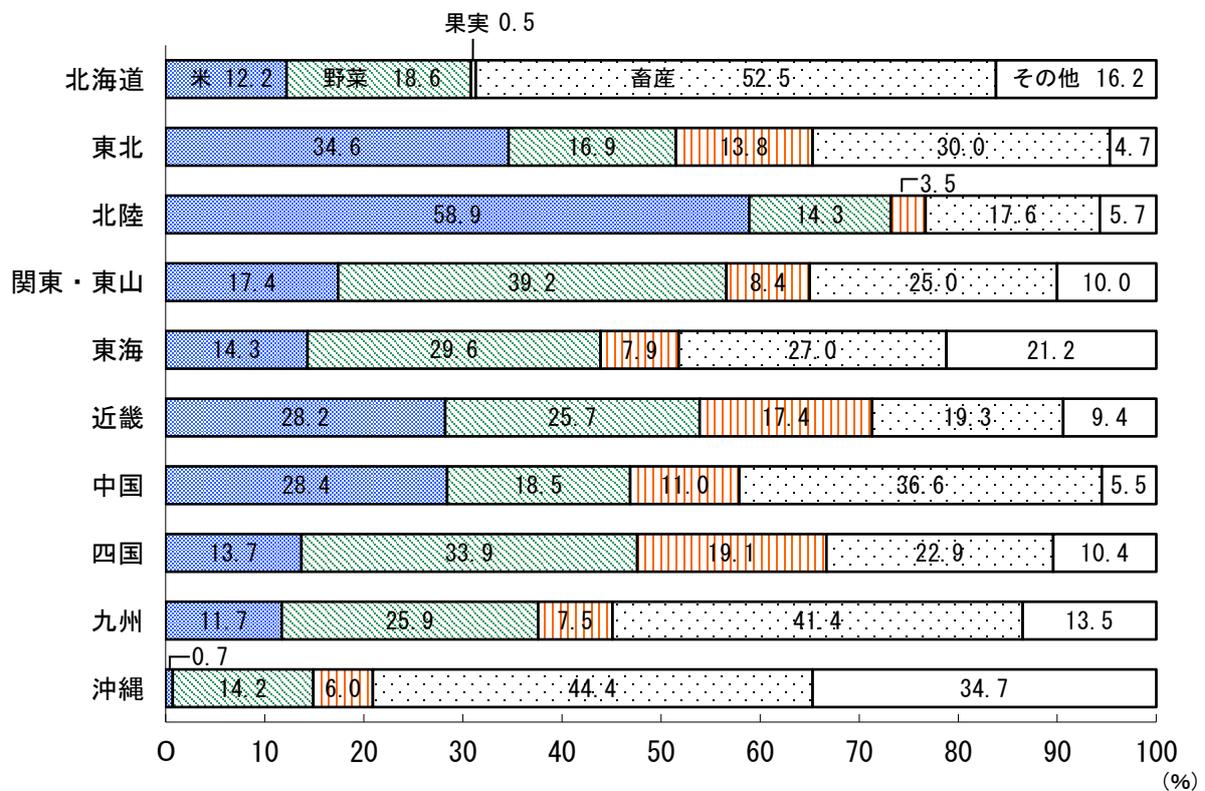
表4 農業産出額上位5都道府県

単位：億円

順位	平成24年		25	
	都道府県	産出額	都道府県	産出額
1	北海道	10,536	北海道	10,705
2	茨城県	4,281	茨城県	4,356
3	千葉県	4,153	千葉県	4,141
4	鹿児島県	4,054	鹿児島県	4,109
5	熊本県	3,245	熊本県	3,250

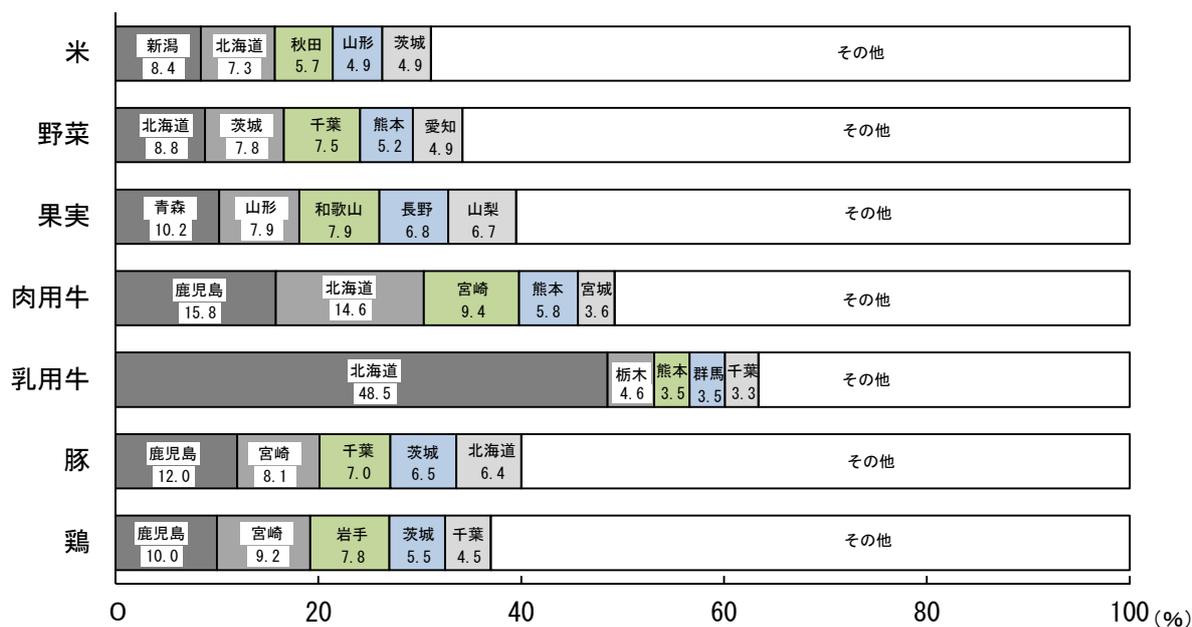
- (2) 全国農業地域別にみると、東北、北陸及び近畿は米、関東・東山、東海及び四国は野菜、北海道、中国、九州及び沖縄は畜産が、それぞれ多くなっている。

図2 全国農業地域における農業産出額の主要部門別構成比



- (3) 主要部門について農業産出額が最も多い都道府県をみると、米は新潟県で1,499億円（部門の都道府県の合計に占める割合は8.4%）、果実は青森県で772億円（同10.2%）、野菜及び乳用牛は北海道で、それぞれ1,990億円（同8.8%）、3,777億円（同48.5%）、肉用牛、豚及び鶏は鹿児島県で、それぞれ880億円（同15.8%）、695億円（同12.0%）、823億円（同10.0%）となっている。

図3 主要部門における農業産出額の都道府県別の構成比



注：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵、ブロイラーを含む。

- (4) 都道府県別の生産農業所得は、北海道が3,763億円で最も多く、次いで茨城県が1,571億円、千葉県が1,398億円、熊本県が1,167億円、鹿児島県が1,088億円の順となっている。

表5 生産農業所得上位5都道府県

単位：億円

順位	平成24年		25	
	都道府県	生産農業所得	都道府県	生産農業所得
1	北海道	3,632	北海道	3,763
2	茨城県	1,439	茨城県	1,571
3	千葉県	1,358	千葉県	1,398
4	熊本県	1,134	熊本県	1,167
5	青森県	1,103	鹿児島県	1,088